

2015年3月20日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市菅野2-14-14-206
Tel/fax 047-323-3640
携帯 090-6310-3294
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログ
http://jcp-shimizu.sblo.jp

日本共産党市議会議員

清水みな子

あおぞらメール No.80



2月予算議会の一一般質問 交通対策、福祉対策、街づくり

北西部地域に コミバス運行

2月予算議会では、27年度予算、介護保険特別会計、国民健康保険特別会計などに反対し討論しました。一般質問は3月16日に行い、今回は、北国分・堀之内地域にコミバスの運行を、全国で急増しているサービスタクシ高年齢者向け住宅の実態、ガーデニング事業に対する市民の声を届けました。

交通不便地域である北西部地域にコミニティバスの運行ができないかどうか。まず、京成バスの北国分駅までの運行状況、増便・延伸について、市の認識について聞きました。

市の答弁は、市川駅から北国分駅までは2路線あり、国分操車場どまりが半数以上であること、操車場から北国分駅までの利用者が少ない状態での

あり増便は必ずかしいと京成バスから聞いている。地域からの要望には、市の「運行指針」に基づいて、相談にのるといこうとした。

私は、相談にのると同時に、ハードルの高い「運行指針」を見直し、高齢化社会のなかで、要望のある北西部や市川駅南地域などにも、コミバスの運行をめざしてほしいと要望しました。

サ高住の実態 高齢者の対策

全国で急増しているサービスタクシ付き高年齢者向け住宅（通称・サ高住）は、住みなれた地域で生活支援を受ける住宅で、国は20年までに60万戸整備する計画です。

サ高住の制度内容、実態把握、市の対応について聞きました。

市の答弁は、サ高住は原則60歳以上が入居可能でバリアフリー構造にするハード面の条件が義務付けられており、サービスタクシ面では、安否確認や生活相談サービスタクシを提供することだということです。市川市には27年度開設含めて、11箇所、328戸が登録されています。

至れり付くせりのサービスタクシを提供する住宅は、月20万円前後と高額です。認知症や胃ろうなど医療費行為が必要な人は入居できないなど、今後増えていくサ高住は要注意、貧困ビジネスにならないよう対策を要望しました。

美しい景観の 街に予算2億

新年度から市長公約で「美しい景観の街づくり」

予算が合計で1億9500万円が計上されました。

私は、市政アンケートから、いまの市政について、「満足・どちらかといえば満足」は18%、「不満・どちらかといえば不満」が59%。そして、市に実現してほしいこと



市役所前の花壇

は「通学路の安全対策、特養ホームの増設、生活道路の改善」などで、ガーデニングではないこと、「環境美化は大切だが、市をあげて取り組むことはない」「花のある街よりは歩道の整備など危険な場所を整備してほしい」声なども紹介し、新年度の予算を聞きました。

ガーデニング事業に2100万円、街路樹整備1600万円、ポケットパーク整備に3800万円、花壇や植栽の維持管理に9200万円、イルミネーションなどに2800万円など2億近い予算です。公民館などの値上げ分に相当します。見直しを要望しました。

議場で一般質問

さよなら原発いちかわパレード



「私たちは福島を忘れない」-3月8日午後から、3回目となる「さよなら原発いちかわパレード」をおこない、大洲公園から270人がパレード。思い思いのプラカード、鳴り物、カラフルな風船をかかげて市川駅まで。市川駅でも宣伝署名活動をおこないました。

東日本大震災から4年がたちますが、いまだに復興はほど遠く、避難者も12万人を超えています。震災関連死も大震災で亡くなった数を超えているということも報道されていました。パレード前の集会では福島・生業訴訟原告団の方が切々と訴えました。

市田副委員長を迎えて 日本共産党の演説会



いよいよ、いつせい地方選挙が間近になりました。県議選は4月12日投票（3日告示）、市議選は4月26日投票（19日告示）です。1カ月を切つた3月14日夜、市川市文化会館で、市田副委員長（参議院議員）を迎えた演説会を開きました。会場いっぱい参加者で熱気にあふれました。

演説会では、共産党応援のメッセージをいただいたあとに、浦安市選挙区から立候補する井原めぐみ県議候補、市議3人の候補者のあいさつ。つぎに、市川市選挙区から立候補する岡田幸子県議、市議5人があいさつ。つづいて、登壇した市田副委員長。包み込むよ

うなやさしい口調ですが、安倍政権をきっぱり批判し、いつせい地方選挙で勝利し、来年の参議院選挙で勝利を勝ちとり、平和を守ろう、憲法9条を守ろうと訴えました。千葉県県の県民に冷たい政治を変えるために、岡田候補、井原候補の勝利をと呼びかけました。

《選挙の日程》

- * 県議選挙
4月3日告示、12日投票
- * 市議選挙
4月19日告示、26日投票

うなやさしい口調ですが、安倍政権をきっぱり批判し、いつせい地方選挙で勝利し、来年の参議院選挙で勝利を勝ちとり、平和を守ろう、憲法9条を守ろうと訴えました。千葉県県の県民に冷たい政治を変えるために、岡田候補、井原候補の勝利をと呼びかけました。



《主な活動報告 3月》

☆3月7日 新婦人支部大会ひらく

情勢報告として市政報告をしました。市長は大型開発や美しい景観に力を入れて、市民負担増を押し付けている実態。4月からは介護保険料、国保税も上がり、10月からは公共施設の2倍～3倍の値上げです。特養ホームの待機、保育園の待機など市民の要望とはまったく逆行していることを報告しました。

☆3月8日 じゅんさい池緑地でうめ祭り

中国分自治会が中心となり実行委員会を組んで取り組む「うめ祭り」が開かれました。あいにくの小雨まじりの天気となり、予定していたイベントが一部中止となりましたが、地域の皆さん、大勢が参加して、模擬店などおはやりでした。また、梅もほころび、見ごろとなっていました。今年で34回目の開催でした。

☆3月15日 国分川調節池の開園式

現在、東国分中学校周辺で、国分川調節池の工事が進められ、中池部分で水がひいているときは、サッカー場や野球場など多目的広場として開放するもので、その開園式が行われました。あわせて周辺に29本のさくらオーナー植樹式もおこなわれました。

☆3月15日 待機者ゼロをめざす会が宣伝行動

毎月署名宣伝行動をおこなっている特養待機者ゼロの会が本八幡駅前での署名活動に取り組みました。



参加人数は少なかったのですが、署名はたくさんいただきました。やはり、特養ホームの増設を市民は望んでいます。戻ってきて署名をしていくご夫婦もいました。